

大阪経済大学
一般選抜対入試策講座
英 語

夕陽丘予備校

英語講師

大間 健弘

専修学校 夕陽丘予備校

CONTENTS

傾向と対策	2
問題編	4
設問形式別解法（整序作文）	9
設問形式別解法（会話文）	10
設問形式別解法（空所補充）	19
設問形式別解法（内容一致&タイトル選択）	20
設問形式別解法（パラフレーズ）	21
モチベアップ編	22
今からやること	24

大阪経済大学（一般選抜） 基礎素養検査の傾向と対策

《全体の出題内容》

A方式では、**第1問** 整序問題、**第2問** 文法・語法問題、**第3問** 会話文完成問題、**第4問** 長文空所補充問題、**第5問** 長文読解問題、の以上大問5題で構成されている。解答時間は他の1科目と合わせて100分で、問題数は43問である。

B方式では、**第1問** 整序問題、**第2問** 文法・語法問題、**第3問** 会話文完成問題、**第4問** 長文空所補充問題、**第5問** 資料読解問題、**第6問** 長文読解問題、**第7問** 長文読解問題の構成である。第4問と第5問の問題構成が実施日ごとで異なる場合がある。解答時間は教科ごとに区切られていて、60分である。

D方式では、**第1問** 整序問題、**第2問** 文法・語法問題、**第3問** 会話文完成問題、**第4問** 長文空所補充問題、**第5問** 長文読解問題、**第6問** 長文読解問題の構成である。解答時間は他の1科目と合わせて90分である。（英語は必須）

《各大問の出題詳細&時間配分目安(A方式を例にすると)》

第1問【整序問題】⇒基本～標準レベル [所要時間目安 分]

① 形式：各問3番目の語を選択

② 問題数：10題

第2問【文法・語法問題】⇒基本～標準レベル [所要時間目安 分]

① 形式：各問短文空所補充形式，4択

② 問題数：10題

第3問【会話文問題】⇒基本～標準レベル [所要時間目安 分]

① 形式：A 応答文完成，6択 B 各問発話補充形式，8～9択

② 問題数：A 3題 B 5題

第4問【空所補充問題】⇒基本～標準レベル [所要時間目安 分]

① 形式：A, B 各問語句補充，4択

② 問題数：10題

第5問【長文読解問題】⇒基本～標準レベル [所要時間目安 分]

① 形式：空所補充4択，文挿入4択，下線部説明4択，内容一致6択

② 問題数：5題

《難易度》

基本～標準レベルのものである。ほぼすべての問題が教科書程度のものと言える。ただ、解答時間が他の1科目と合わせる方式もあるので、的確な時間配分と解答スピードと正確な判断力が要求される。

《対策》

大阪経済大学の英語はバラエティーに富んだ出題なので、語彙力・文法力・読解力の総合的な英語力が不可欠であるが、なんといっても語彙力・文法語法力がものをいう。語彙力の強化としては、英単語帳（ターゲット[旺文社]など）や教科書のNEW WORDSを利用して徹底的に暗記し、文法力・英文構成力の養成やイディオムの習得には「即戦ゼミシリーズ[桐原書店]やネクステージ[桐原書店]、スクランブル[旺文社]」などを使うと良い。また、他の1科目と合わせた試験時間のため、設問数に対する解答時間はそれほど長くはないので、正確でスピーディーな判断力が必要となる。語彙力・文法力の強化を基本にした学習を心掛け、それをもとに英文読解力と速読力を養成しておかなければならない。また、会話文問題対策としては、センター試験の過去問などを用いてできるだけ数多くの会話文問題に触れ、会話の状況や流れを読み取る練習をしておくことが大切である。読解力養成については300～400語程度の英文を、速読を意識して解釈するように心掛けてほしい。また、過去問に多く触れることで空所補充問題にも慣れていってほしい。一日一題解くことを勧める。

問題編

第3問【会話文問題】 次の会話文に最も適切なものを選び。

問1

A : Pardon me. Do you have the time?

B :

A : Thanks anyway.

B : No problem.

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ① Sorry, I don't have a watch. | ② No, it's too late. |
| ③ Well, you're busy. | ④ Yes. It's time to buy a clock. |

問2

A : I just bought this tea set, and one of the cups is cracked.

B : I'm awfully sorry.

A : Sure, here you are.

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ① Don't worry. | ② Can I try it? |
| ③ Do you have a receipt? | ④ There's nothing I can do. |

問3

A : Shall we buy this sofa?

B : It's a bit too expensive.

A : We can afford it.

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ① Great idea. | ② Let's buy it anyway. |
| ③ Why don't we keep looking? | ④ I couldn't agree with you more. |

問4 空所に最も適切なものを①～⑨から選べ。ただし、同じものを繰り返し選んではいけない。

A : I was thinking of bringing fried chicken to the party. How does that sound?

B : Actually, I don't think we should bring any meat dishes.

A : Really?

B : No, Miyu doesn't eat any kind of meat, including chicken. She's been a vegetarian since high school. Can't you bring something else?

A : But everybody loves my fried chicken.

B : We should bring food that she likes. It's her birthday, after all.

A : I guess you're right. I just don't feel confident about trying a new dish. Are there any good vegetarian cookbooks that you know of?

B : Just make your usual vegetable tempura. You already know how to make that.

A : Yeah! That's a recipe I know by heart. It'll be perfect for Miyu.

- ① I suppose I could.
- ② Did you wrap her present?
- ③ You don't need a cookbook.
- ④ Yes, Miyu loves fried chicken.
- ⑤ Doesn't everyone eat chicken?
- ⑥ My point is that Miyu wouldn't.
- ⑦ Yes, that would be better than vegetables.
- ⑧ Miyu doesn't like to celebrate her birthday.
- ⑨ This one has a great recipe that Miyu will like.

<解説・解答>

4 返事が「いいえ、ミユウは肉はどれも食べない、鶏肉も」となるような質問を考える。⑤「誰でもチキンは食べるんじゃないの？」であれば、そのような答えになる。

5 「他のものを持って行けないの？」という質問に対する返答になるもの考える。①「持って行けると思うけど」がぴったり。I suppose I could bring something else. と補えるかどうかポイント。

6 「ミユウの誕生日なんだから、ミユウの好みを大事にしよう」という趣旨の発言を考える。⑥「私の言っているのは、ミユウはそうじゃないってこと」なら、その趣旨にぴたりと合う。

7 次の「いつもの野菜天ぷらを作るだけでいい」という発言から考えて、「料理本を探す必要はない」という趣旨の発言になると見当がつく。そうすると③「料理本なんかいらないでしょ」がふさわしいことがつかめるだろう。

残りの選択肢は②「プレゼントを包装したの?」、④「うん、ミユウはフライドチキンは大好きなの」、⑦「うん、その方が野菜よりいいね」、⑧「ミユウは誕生日のお祝いは好きじゃない」、⑨「これにはミユウの気に入るすごいレシピが載っているの」の意味。

第4問【空所補充問題】 空所に最も適切なものを選べ。

Here are the hard, dry facts: yes, drinking water is a good thing, 1 better than buying soft drinks, or liquid candy, as experts like to call it. And almost all public drinking water in America is so good 2 nobody needs to import a single bottle from Italy or France. Meanwhile, if you choose to get your recommended eight glasses a day from 3 water, you could spend up to \$ 1,400 annually. The same amount of tap water* would 4 about 49 cents.

tap water* : 水道水

1 ① enough ② much ③ too ④ very

2 ① because ② but ③ if ④ that

3 ① bottled ② cold ③ drinking ④ running

4 ① account ② cost ③ pay ④ spend

— MEMO —

設問形式別解法

第1問【整序問題】

- 1 整序する文の前後の語句をヒントにする
- 2 カタマリを意識する
→ 句・節、語法、構文、イディオム、コロケーションなど
(決まったつながり)

《strategy》

整序英作文は、文法・語彙・読解の力を総合的に問う問題である。何となく語をつなぐといったような意識では正解は難しい。文全体の構造を正確に捉え、空所部分の語句を文法的にも文脈的にもつじつまの合うよう並びかえねばならない。同種の問題に数多くあたることで、逆に英文構造を正確に捉える力を養うことができるとも言えるので、できるだけ多くの過去問でどんどん練習し、問題を解く中で知識を身につけていくとよい。解答に際しては、選択肢の語を見て、イディオムや構文など決まった表現があればまとめておく。接続詞・関係詞・疑問詞などの『節』を構成する語がある場合は、特に注意を払うこと。

第3問【会話文問題】

- 1 登場人物のつもりで文脈から客観的に発言を予想
- 2 指示語または省略に注意
- 3 呼応関係
 - (1) 質問 → 答え
 - (2) その他の呼応関係
 - A : [依頼文、勧誘文、提案文、許可を求める文]
 - B : Sure. / Surely. / Certainly. / By all means.
「いいですよ。 / かしこまりました。」 など。
- 4 会話文特有の対応表現&頻出フレーズ

A 応答文完成

- ◎ 6 択問題と考える
- ◎ 文脈と選択肢から文意を大まかに想像しヒントにする
- ◎ 文法・語法・コロケーション(慣用的結びつき)・イディオムの知識が不可欠

3 注意すべき呼応表現

- (a) 命令文に対応する場合、I will を用いる。

“Please do it at once.”

“OK. I will.”

- (b) 反応疑問：相手の言葉に反応して「そうなんですか？／本当なの？」
という気持ちで使う。

A : “S V ~.” “S V ~なんだ”

B : “(S V ~,) V S ?” “そうなんですか？”

※ 付加疑問と違い、A の発言が肯定文なら B も肯定形の疑問になり、A の発言が否定文なら、B の発言も否定文になる。

A : “I met Ohma yesterday.” “昨日、大間に会ったよ”

B : “Oh, (you met him,) did you?” “えっ、マジで？”

※ この場合、you met him は A の発言と同じであるために、省略され Did you? だけになることもある。

- (c) Yes, No という答えに関する注意

① 疑問詞で始まる疑問文に対しては、Yes, No で答えられない。

② Yes = 「はい」、No = 「いいえ」という訳語とは限らない。

Yes : 「前文の SV を用いれば、肯定文だ」という宣言

No : 「前文の SV を用いれば、否定文だ」という宣言

A : “Have you finished your homework?” “宿題終わった？”

B : “Yes, I have.” “うん、終わったよ”

“No, I haven’t.” “いや、終わってないよ”

A : “Haven’t you finished your homework?” “宿題終わってないの？”

B : “Yes, I have.” “いや、終わったよ”

“No, I haven’t.” “うん、終わってないんだ”

※ Have you finished ~? で質問されようと、
Haven’t you finished ~? で質問されようと、

Yes は I have finished ～. という趣旨の返事の宣言であり、
No は I haven't finished ～. という趣旨の返事の宣言である。
従って、Yes, I haven't. や No, I have. という返事は存在しない。

4 会話文特有の対応表現&頻出フレーズ

(1) 「ありがとう」

Thank you. / That's (very) kind of you. / It's (very) kind of you. /
I really appreciate it.

(2) 「とにかく、ありがとう」

相手に何かを依頼したのだが、あいにく、相手が依頼に応えられない
時に使う。

Thank you just the same. / Thank you all the same. /
Thank you anyway.

A : "Would you show me the way to the station?"

「駅への行き方を教えていただけませんか？」

B : "I'm sorry, but I'm a stranger here."

「すみません。この辺りの者ではないもので。」

A : "Oh, I see. Thank you just the same."

「そうですか。とにかく、ありがとうございました。」

(3) 「どういたしまして」

Thank you に対して使う表現

You are welcome. / Not at all. / Don't mention it. / That's all right. /
The pleasure is mine. / (It's) my pleasure. / It's a pleasure.

(4) 「はいどうぞ」

何かを差し出して

Here you are. / There you are. / There you go.

(5) 「さあどうぞ」

行為、発言を促して

Go (right) ahead.

A : “May I borrow your pen?” 「ペンを借りてもいいかい？」

B : “Sure. Go right ahead.” 「いいよ。さあどうぞ。」

(6) 「それはお気の毒に / それは困った / それは残念だ」

That's too bad.

(7) 「どうかしたの？」

相手を気遣って

What's the matter (with you)?

(8) 「それがどうしたと言うんだ」

反語的に使う。「そんなことどうでもいいだろ。」という気持ち

What does it matter?

(9) 「～してもらえますか」 - 「はい、いいですよ」

Would you mind ~ing? / Do you mind ~ing?

No, I don't. / Not at all. / Of course not. / Certainly not.

A : Would you mind opening the window?

「窓を開けてもらえますか？」

B : No, of course not. 「はい、いいですよ。」

(10) 「～してもいいですか」 - 「はい、いいですよ」

Would you mind my ~ing? / Do you mind my ~ing?

Would you mind if I ~? / Do you mind if I ~?

No, I don't. / Not at all. / Of course not. / Certainly not.

A : Would / Do you mind my smoking here?

「ここでタバコを吸ってもいい？」

Would you mind if I smoked (smoke) here?

Do you mind if I smoke here?

B : No, not at all. 「はい、いいですよ。」

※ Would で始めれば、if 節は仮定法過去時制、Do で始めれば、if 節は現在時制であるが、略式で、Would で始めても if 節を現在時制で言うこともある。

(11) 「～してもらいませんか」

I wonder if you could / would ~.

I'm wondering if you could / would ～.
I was wondering if you could / would ～.
I would appreciate it if you could / would ～.

(12) 「～してはどうですか」

Why don't you V 原形～? / Why don't we V 原形～?
Why not V 原形～? / How about ～ing? / What about ～ing?
What do you say to ～ing?

(13) 「いいですよ / かしこまりました」 など

依頼文、勧誘文、提案文、許可を求める文に対する返事として
Sure. / Surely. / Certainly. / By all means.
依頼文、勧誘文、提案文に対する返事として
I'm glad to. / I'd be glad to. / I'm delighted to. / I'd be delighted to. /
With pleasure. / Why not?
勧誘文、提案文に対する返事として
I'd like to. / I'd love to.
Yes, let's.

(14) 「そうしたいのですが」

依頼文、勧誘文、提案文に対する断りの返事として
I wish I could.

(15) 「それはいいね」

相手の考え、提案を肯定する時
(It / That) sounds good / great.

(16) 「そう思います」

I think so.
I hope so. [それが望ましい事態だという主観をこめて]
I'm afraid so. [それが望ましくない事態だという主観をこめて]
※ so は、相手の発言文と対応する肯定文の代用。
A : "I'm going on a picnic. Will it be fine?"
「ピクニックに行くんだけど、晴れるかな？」
B : "I hope so." [=I hope it will be fine.]
「晴れると思うよ。」

A : "I'm going on a picnic, but I wonder if it will rain."

「ピクニックに行くんだけど、雨降るかな。」

B : "I'm afraid so." [=I'm afraid it will rain.]

「降ると思うよ」

(17) 「そうは思いません」

I think not. / I don't think so.

I hope not. [それが望ましい事態だという主観をこめて]

I'm afraid not. [それが望ましくない事態だという主観をこめて]

※ not は、相手の発言文と対応する否定文の代用。

A : "I'm going on a picnic, but I wonder if it will rain?"

「ピクニックに行くんだけど、雨降るかな？」

B : "I hope not." [=I hope it will not rain.]

「降らないと思うよ。」

A : "I'm going on a picnic. Will it be fine?"

「ピクニックに行くんだけど、晴れるかな？」

B : "I'm afraid not." [=I'm afraid it will not be fine.]

「晴れないと思うよ。」

※ I think not. ... ○
I don't think so.
I don't hope so. ... ○
I'm not afraid so.

(18) 「時間を教えてもらえますか？」

Do you have the time?

※ この意味の場合、time に the がついていることに注意。

(19) 「もうおいとましくては」

I must be on the way.

(20) 「～によろしく伝えてください」

Say hello to～. / Give my (best / kind) regards to～. / Remember me to～.

(21) 「さようなら」

Goodbye. / See you. / See you later. / See you soon. / See you again. / So long.

- (22) 「どちらさまですか？」 (電話で)
Who is this (, please)? / Who is that (, please)?
Who is calling (, please)? / Who is speaking (, please)?
- (23) 「こちら～です」
This is ~ (speaking). / ~ speaking.
- (24) 「そちらは～さんですか？」
Is this ~? / Is that ~?
- (25) 「少々お待ちください」
Wait (a moment / a minute / a second).
Hold on (a moment / a minute / a second).
Hang on (a moment / a minute / a second).
- (26) 「間違い電話です」
You have the wrong number.
- (27) 「電話を貸していただけませんか」 (他人の家で)
May I use your telephone?
※ use の代わりに borrow は使えない。
- (28) 「話し中です」 (電話がつながらなかった時に)
The line is busy. / The phone is busy.
- (29) 「行きます」 (相手の所に来ないかと誘われて)
I will come. / I'd like to come.
※ go ではないので注意。
- (30) 「ステーキの焼き具合はどういたしましょうか？」
How would you like your steak?
「コーヒーはどのようにいたしましょうか？」
How would you like your coffee?
A : “How would you like your coffee?”
「コーヒーはどのようにしますか？」
B : “I'd like mine black.” 「ブラックでお願いします。」

(31) 「仕方がなかったんだ」

I couldn't help it.

※ この **help** は「避ける」の意。

(32) 「最高だったよ」

It couldn't have been better.

※ 「それ以上すばらしくはなり得なかったでしょう。→ 最高だった。」

(33) 「君にも見せたかったよ」

You should have seen it.

(34) 「～を車で迎えに行く」

pick 人 up = collect 人

(35) 「大きなお世話だ」

Mind your own business. / (It's) none of your business.

(36) 「おくつろぎ下さい」

Make yourself at home.

(37) 「(食べ物、飲み物) をご自由にお取り下さい」

Help yourself to ～.

(38) 「なぜ～か？」

How come S V～?

“How come you said such a thing?”

「何でそんなこと言ったの？」

(39) 「もう一度言ってもらえますか？」

[相手の言葉が聞き取れなかった場合に]

I beg your pardon? / Pardon me? / Pardon? / Sorry?

(40) 「ケースバイケースです / 時と場合によります」

It depends.

<その他の重要表現>

That's it. 「それでおしまいだ。 / それが問題だ。 / その通りだ。」

You got it. 「その通りだ。 / それでかまわないよ。」

You said it. 「その通りだ。」

I got it. 「わかりました。」

make it 「成功する/間に合う/待ち合わせる/来る/出席する」

How's it going? 「ごきげんいかがですか？」

have got=have / have got to～=have to～

第4問【空所補充問題】

- ① 選択肢に品詞・語形の違いがある。
⇒ 空所の文法上の役割に注目して選択肢を絞る。
- ② イディオム、コロケーション（慣用的結びつき）を疑う。
- ③ 文脈から推測。

※ 文挿入問題

- ◎ 本文を読む前に挿入する文をあらかじめ目を通し、指示語やディスコースマーカーなどのヒントとなる表現をチェックしておく。

《strategy》

まず、一番始めに確認すべきことは、選択肢内に品詞・語形の違いがあるかどうかである。違いがある場合は、空所の文法上の役割が何なのかを考えて選択肢を絞る。その後、イディオムやコロケーションで決まるかを判断し、決まらなければ文脈判断となる。

大切なことは、空所に出会ったら、出来る限り自分でどんな内容が入るのかを文法的・意味的観点から予想して、それと選択肢を比べて解答することである。

第5問【長文読解問題】《内容一致&タイトル選択》

- 1 (1) リード文から何を問われているのかが分かるもの
⇒ 該当箇所を探しながら読み進める。

(2) True or Not true 形式のもの

方法① ⇒ 本文をキリの良いところまで読んで選択肢を見て判断。

方法② ⇒ 選択肢に先に目を通し、固有名詞、数字・数値、極端な表現、特徴的な表現をチェックし、本文を読みながら判断できるものはその都度判断していく。 極端な表現は本文でも極端に述べられていないと選んではいけない。極端な表現とは具体的に、only, alone, all, any, every, no, always, complete(ly), 複合関係詞, 最上級などである。

2 タイトル選択問題

⇒ 本文で反復的に述べられていることを抽象的にまとめたものを選ぶ！また、選択肢は先に目を通し、反復して出てくる語(句)はチェックする！そうすることで、大まかな内容がつかめることが多い。

《パラフレーズ(下線部言い換え)》

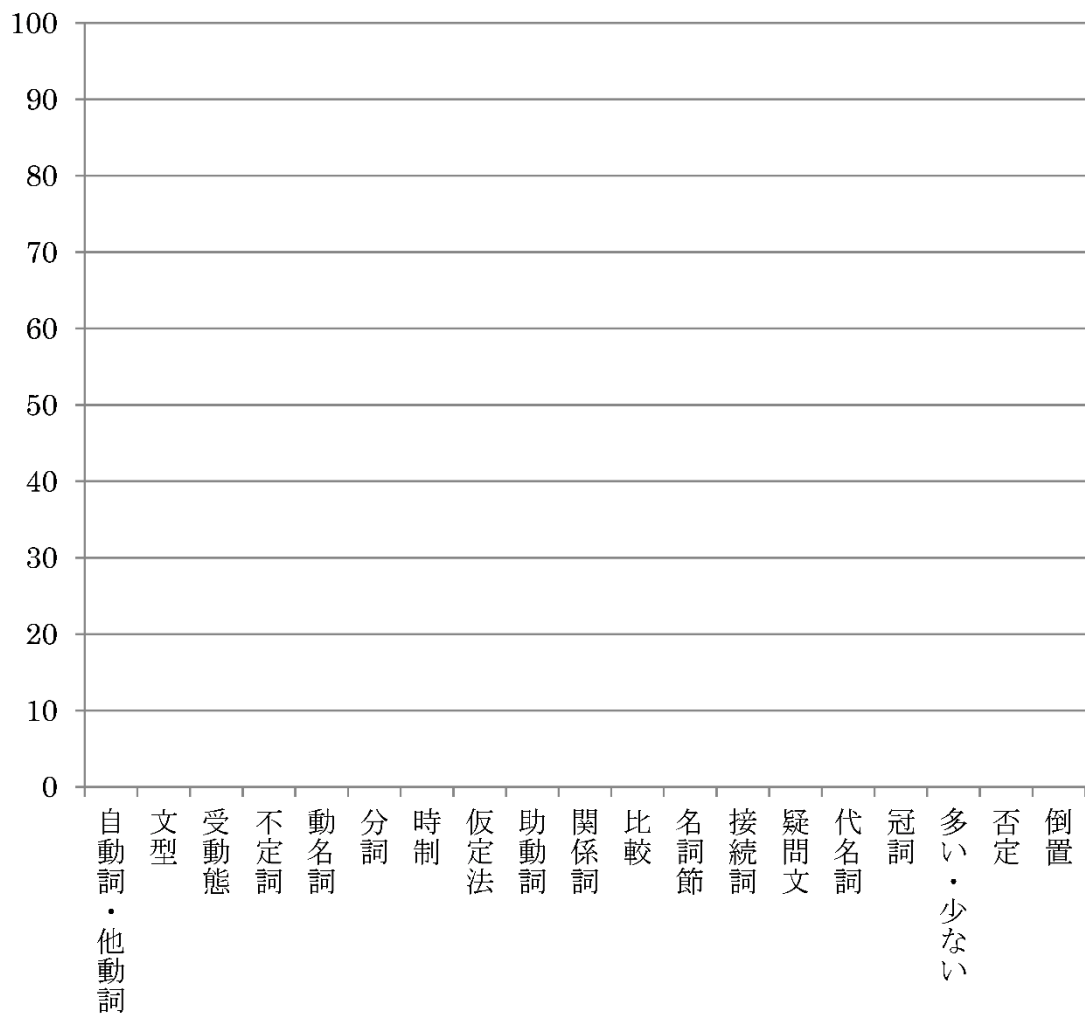
- 1 知識問題 ⇒ 語彙・語法、イディオム、構文の知識を問う問題

2 文脈から推理
↳ 文と文の関係
＝置き換え、具体(⇔抽象)、対比、因果関係、並列・追加

《strategy》

パラフレーズ問題とは、下線部言い換え問題のことである。問題パターンとしては主に2つで、単なる知識問題か、文脈から推測して解答する問題である。

☆ 文法項目俯瞰図 ☆



(縦軸：正答率 横軸：単元)

☆ 大阪経済大学への英文読解 50 題 ☆

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

大阪経済大学合格

さらに1歩前進！！

今からやること

～赤本に挑戦～

- ・自分で本番を意識して全力で解いて要した時間
(→「傾向と対策」で示した時間とどれだけ開きがあるかを確認し、本番までにその時間差を埋めていくことを意識して過去問演習に取り組む)

① 分 ② 分 ③ 分 ④ 分
⑤ 分

- ・正解率を出す
(それぞれの大問ごとの出来・不出来を確認し、過去問と並行して苦手な大問の形式の練習を行う)

① / 10 問 ② / 10 問 ③ / 8 問 ④ / 10 問
⑤ / 5 問

合格の目安 (75～80%)